

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
|------|----------------|---------------|-----------|---------------|--------------|--------------|
| 地域学習 | 学校のまわりをよく見てみよう | レッツゴー! まちたんけん | 安全な地いき | 近代化遺産を調べよう | 調べてみよう 地域の宝物 | わたしたちがつくる大牟田 |
| 環境学習 | ぐんぐんのびろ | げんきにそだて | 諏訪公園たんけん隊 | めざせ! きれいな大牟田市 | 自然から学ぼう | くらしと環境 |
| | 各教科 | 外国語活動 | 道徳 | 特別活動 | | |

【第2学年・地域学習「レッツゴー!まちたんけん」(生活科)】

校区にある商店や会社を訪ね、仕事の様子調べる学習をした。

商店や会社の仕事の様子を観察し、働く人に品物をつくるための工夫やよい品物をつくるための工夫について話を聞いたり質問をしたりした。

学校に戻ってから、気付いたことを生活科ノートに書いて交流したり、商店や会社の人に手紙を書いたりして、商店や会社の仕事について理解を深めるとともに、校区に住む人々へのふれ合いを通して親しみを深めた。



地元の醤油の会社を訪ねて

【第6学年・地域学習「わたしたちがつくる大牟田」】

子ども達は、前学年までの学習で、校区にある三池港が大牟田の産業の発展を支えてきた港であることを理解してきた。その三池港が「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つとして世界遺産に登録へと向かう中、次のような活動を展開した。

6月29日、三池港の見学を行った。国土交通省の協力を得て、船で港内を巡りながら埠頭の工場・倉庫群を見たり、間近で閘門の動く様子を見たりした。この見学で、子どもは、三池港が今なお大牟田と世界をつなぐ価値ある港として校区に存在していることへの実感を深めた。



三池港の見学

7月9日、三池港の世界遺産登録決定を受け、児童会主催で「三池港・世界遺産登録! 記念児童集会」を開催した。校区の宝が世界の宝になったことへの自分達の思いを発表した。集会では、登録決定の翌日に子ども達が取材した、校区の商店の人々や家族の喜びの声もビデオで流され、世界遺産登録の喜びを校区で分かち合う集会となった。

三池港の見学、世界遺産登録記念児童集会を通して、子ども達は世界遺産のあるまち・天領校区と大牟田市のことをもっと多くの人に知ってもらいたいという思いを強くした。

そこで、海外の学校とのアートマイル壁画交流に



世界遺産登録記念児童集会

において、大牟田の伝統の祭り・大蛇山まつり、世界遺産に登録された宮原坑とともに、三池港をモチーフに絵画を描き上げ、フランスの Saint Paul-Reze 校との交流を行った。

また、三池港に外国からの観光客が訪れることを想定して、学校の正門脇に取り付ける案内板(英語表記)を作ったり、英語での道案内の練習をしたりした。

さらに、市内の他校とともに「世界遺産めぐりコース」をつくって、共同PRし、修学旅行や社会科見学を誘致するというアイデアも出した。

来年度に向けた取組として、現在の6年生から来年の6年生に引き継ぐことにしている。



(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()